AU 青山学院大学 NEWS No.33

AGUニューズ第33号 [2006年8月~10月号]

青山学院大学・広報入試センター広報課 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03-3409-8111(代表)

URL. http://www.aoyama.ac.jp/agunews/





本学の進路・就職支援体制の

現在とこれから

青山キャンパス 進路・就職センター 相模原キャンパス 進路グループ

2005年度の進路状況について

大学院・専門職大学院への進学について 福岡理工学部教授が「第1回科学ジャーナリスト賞」受賞 青山学院大学社学連携研究センター設置 「附置機器分析センター」開設3年目の飛躍

報告・お知らせ

学費納付について

青山スタンダード 技能コア科目「言葉の技能」

夏期休業期間中の窓口案内 2007年度入学試験日程

本学の進路・就職支援体制の

現在とこれから

大学生の進路選択が多様化する中、

本学では2005年4月より従来の「就職部」を「進路・就職センター」にリニューアル。

各種進路相談の窓口を一本化し、学生にとってわかりやすく、利用しやすい進路担当部署に生まれ変わりました。

そして現在、青山キャンパス「進路・就職センター」と相模原キャンパス「進路グループ」が連携しながら、

大学4年間を通した学生一人ひとりの"キャリアデザイン"をサポートしています。

今回の特集では、2005年度の進路・就職状況をまじえて、

「進路・就職センター」と「進路グループ」の取り組みについてお話をうかがいました。

青山 キャンパス



仁科 貞文 就職部長 (文学部教授)



川上 功 進路・就職センター 事務部長

本学の2005年度進路状況は いかがでしたか?

川上 2006年3月卒業生計4,171名のうち、 進路決定者数(就職者・進学者)は3,526名で、 「進路決定率」は大学全体で84.5%(第一部86.2%、第二部74.1%)となりました。これは2003年度、2004年度と比較するとそれぞれ、6.9%、2.3%の増加です(5ページ表1参照)。

進路決定者のなかで「就職者率」(就職決定、自営、現職継続、臨時雇用)は大学全体で74.9%(第一部75.9%、第二部68.7%)で、こちらは2003年度、2004年度と比べて、それぞれ10.0%、2.6%の増加となりました。さらに就職者のうち、新規採用に限った「就職決定率」を算出しますと、大学全体で68.3%(第一部72.1%、第二部44.6%)で、やはり2003年度、2004年度と比べて、12.9%、5.1%増と着実に増加傾向にあります。

昼間部人文·社会科学系5学部の就職決定率だけを取り出してみると73.9%。これは2

年前に比べると、12.5%もの増加です。一方、 就職者の増加によって、大学院、海外留学、 専門学校など進学者は、ここ3年減少傾向に あり、2005年度は9.7パーセントでした。

景気回復に伴い、 大学生の就職環境に 明るさが戻ってきたようです。

仁科 確かに2005年度は大学・大学院対象の求人数がバブル期並みに回復し、本学の場合も、人文・社会科学系学部の学生を対象とした求人数が、卒業生4,171名に対して4,852件に達しました。しかし、油断は禁物。各企業は、採用にあたって厳しく「人」を見ています。業界・企業研究などの努力や、社会性を身につけること、そして就職への意欲を高めることの重要性は、これまでと変わりません。複数の内定を手にする学生となかなか内定を取ることができない学生の差は、そこにあるのです。時には失敗や挫折を味わいながらも、

社会を知り、自分を知る……そうした就職活動自体が学生にとってかけがえのない学びの経験です。実際、3年生の秋から4年生の春にかけて、就職活動を経た学生たちは目に見えて成長しています。

| 進路・就職センターで行っている | サポートについて教えてください。

川上 本センターの進路支援の柱となるのが年間100回を超す進路・就職支援行事(6ページ参照)の開催、そして年間で約5,000件にのぼる個別相談です。

2005年度は合計114件の進路・就職支援 行事を実施して、のべ3万人の学生が参加し ました。これらの就職行事への参加率は年々 上昇していますが、本音を言えば、ほんとうに 参加してほしい学生=なかなか進路が定ま らない学生ほど出席してくれません。大学全 体の底上げのためにも、より多くの学生への 呼びかけを行っていきたいと思っています。

仁科 3年次9月末に開催する第1回就職ガイダンスが、本格的な進路・就職支援行事のスタートとなりますが、この時配布するガイドブックを、ハンディなA5版薄型で、行事一覧が記載されたカレンダー方式にリニューアルしました。進路・就職センターの活用や就職活動

のノウハウが わかりやすく 説明されてい るほか、本学 独自のデータ を盛り込んだ 別冊も用意し ました。



(2005年度版)

3年生を対象とした 「業界・企業研究セミナー」は、 どのような内容なのですか?

川上 人気企業・中堅企業の採用担当者を大学にお招きし、各企業の概要、業務内容・採用方針などについてご説明いただくもので、教室・ブース形式で各1回開催しています。2005年度は教室形式に126社の企業が参加し、のべ1万2,370人の学生が出席。学生ホールでのブース形式には257社の企業が参加し、のべ2,605人の学生が出席しました。学内にいながらこれほど多くの企業と接触できるわけですから、志望企業を中心にできるだけ多くの企業のセミナーに参加していただきたいと思います。また、6月にも求人継続中の企業に依頼して、4年生対象、ブース形式の「企業セミナー」とガイダンスを行いました。



学内企業説明会

個別相談では、 どのような相談内容が 多いのですか?

川上 例年、相談内容の多いのは「自己PR・志望動機」「面接」「内定・辞退」の順で変わりません。そのほか3~4月には「履歴書」等の書き方についての相談が多くなります。また、進路未定者や転職者など既卒者に対する相談も行っており、昨年は計145名・のべ214件の相談を行っています。ちなみに、そのうち20名は教員志望者でした。

仁科 現在のインターネットを利用した就職活動では、その過程において人との接触の機会が少なくなる傾向が見られます。しかし、面接が重視される就職試験では、対人コミュニケーションによって得られるものが大きな力となります。そうした意味で、個別相談や進路・就職支援行事を有効利用し、できるだけ多く



相談風景

の人とコミュニケーションを図り、個々の"就職力"を身につけてほしいと思います。

進路・就職支援において、 重視されていることは?

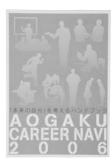
川上 まず、個別相談などで一人ひとりの学 生にしっかりと対応することでしょう。同時に 大学全体の学生の進路・就職状況を把握す ることも重要だと考えています。そのための基 礎データとなる「進路届」の提出率は、2002 年度まで全卒業生の7割程度でした。そこで、 学生の保証人の方々にもご協力いただくとと もに、直接持参以外に電話やメール、ファック スでも受け付けるなどさまざまな方策をとった 結果、2003年度より100%近い回収率を達成 しています。2005年度提出率は99.7%で、回 収できなかったのは12名。今後も100%回収 を目指し、努力を続けていきます。信頼性の 高いデータによって、年度ごとの進路状況の 変化を追うことができますし、進路保留者が 次年度の就職活動準備、進学、留学など、ど のような計画を持っているかを把握し、各人 への対応が可能になりました。データ比較に よって、学部別の進路指導に役立たせること もできるでしょう。

仁科 卒業生との関係強化の中で学生たちの可能性を開拓していくことも、進路決定・就職支援の大きなテーマです。これまでOB組織(青山会ネットワーク)の協力のもと就職支援のイベントなどが行われてきました。現在は、学生と比較的年齢が近い若手卒業生による模擬面接会やパネルトークや交流会なども実施しており、好評を得ています。

今後はどのような取り組みを されていきますか?

川上 低学年から進路への動機付けを図る ことは、3年生からの就職活動のための土台 づくりとして重要です。そうしたキャリアデザインの意識を高めてもらうため、進路・就職センターでは、相模原キャンパスの進路グループと連携した支援プログラムを用意していきます。1・2年生の個別相談も歓迎しています。そのほか、青山キャンパスで1・2年生を中心としたキャリアプランニング講座を開催していますが、こうした特別な行事だけではなく、日々の学びの中で進路決定に対する意識を高めてもらうことも大切ではないでしょうか。本年後期から青山スタンダードに「キャリア形成支援」という講座が開設されますが、今後ますます発展していくよう働きかけるつもりです。

仁科 今年度より、 入学直後のガイダン スで新入生全員に、 進路・就職に関する データや情報をまと めた「『未来の自分』 を考えるハンドブック」 を配付しています。



この冊子をきっかけとして、1年生から自分の 未来について考え、設定した目標=進路を 実現するために「何を学ぶべきか」を考えて ほしいと思っています。

川上 公務員希望者や教員希望者のバックアップ体制もこれまで以上に充実させていきます。今年度は渋谷にある専門学校に本学のオリジナル公務員講座を設置しました。この講座は他大学の受講生と切磋琢磨しながら、公務員試験合格への意欲を高めていこうというものです。

仁科 本学の学生は、多くの就職先から人柄、 社交性などの点で高く評価される傾向にあります。そうした社会の期待に応えるとともに、 一人でも多くの学生が納得のいく進路選択ができるよう、今後もさまざまな努力をしていきたいと考えています。



青山キャンパス第2資料室

相模原キャンパス







白根 憲一 _{進路グループリーダー}

相模原キャンパスにおける 進路・就職に関する 現況を教えてください。

佐久田 相模原キャンパスでは、理工学部の大学院と学部学生たちが4から6年間を過ごします。そのため進路支援についても理工系に特化した形です。幸い理工系の主な就職先となる業界は、ここ近年の好景気にも支えられ、就職活動も有利に展開しています。 大学に寄せられる求人数も増加傾向にあります。

白根 具体的な数字をあげますと、毎年およそ2,300社前後の求人情報をいただきます。そして就職する学生が、学部生で約300名、大学院生で約150名。学生が就職する企業は毎年約250社ですから、単純に言って約10倍の求人企業から依頼があることになります。2006年3月も96%以上の進路・就職決定率でしたが、この傾向は今年度以降も続きそうな手応えを感じています。

理工学部の学生にとっては、 大学院への進学も 重要な選択肢ですね。

佐久田 そうですね。毎年平均すると3割以 上の学生が大学院へ進学しています。文系 の学生よりも進学率は高いと言えるでしょう。

実は進学率の高さも、理工学部ならではの 就職活動の流れと関連があります。例えば入 社試験で同じ力量と思われる学生を比べた 場合、多くの企業で学部生よりは院生を選ぶ 傾向があります。やはり技術系の分野では、 大学院で研究に深く携わった経験が評価されるようです。学生もそのあたりの事情を情報として理解しているので、就職せずに、大学院でさらなる研究に取り組むと最初から決めているケースも多いですね。

多少話はそれますが、就職活動で理工系特有といいますと、大学からの推薦状を必要とする企業があります。しかも大手と呼ばれる企業にその傾向が多く残ってます。院生と同様に、大学でしっかりと学んだ証となるものが、採用する側にとっても安心材料となっているのではないでしょうか。

進路に関して具体的には、 どのような支援活動を 実施されていますか?

白根 理工学部に特化されるため対象となる学生数も少なく、ほとんどの学生の顔とプロフィールを覚えることができます。そのことを活かして、学生一人ひとりとコミュニケーションを取り、個々に合わせた支援活動を心がけていますし、また実現できていると思います。これは私ども進路グループのスタッフだけでなく、佐久田先生をはじめとする就職担当委員や研究室の先生方のお力も大きいですね。

佐久田 学科ごとでもさまざまな取り組みをしていますが、特筆すべきは、各研究室単位での活発な活動が就職にも活かされている点だと思います。これまでに多数の卒業生を社会に送り出してきた実績やノウハウを持った教員陣が揃っているわけですから、学生に本当の意味で役立つ情報を提供できるのです。

あと貴重なのが、研究室から巣立った卒業

生からの情報です。就職後も研究室の教員と付き合いが続いている卒業生は多くいるので、そんな社会の第一線で活躍中の先輩の声が、生きた情報として、教員経由で集められている現状もあるようです。人と人とのつながりから生まれる情報は大切にすべきですね。

学生が大学で学んだテーマが、 そのまま就職にも 結びつくのでしょうか?

佐久田 最近は研究室で取り組んだテーマがそのまま就職先の希望に結びつかない学生が結構います。これは院生にも言えることです。何事にも多様化の時代と呼ばれますが、進路にも当てはまりそうです。思った以上に学生たちは、広い視野で進路をとらえています。それだけにより一層、個々に対するアプローチが必要となります。

白根 あまり早い段階から進む道を決めてしまうと視野が狭くなり、その人の持っている可能性が小さくなってしまうことも考えられます。 大学時代にいろいろな世界を見て、自分の可能性を広げ、何事にもチャレンジしたいと考える学生が増えていますし、我々もそんな学生を応援したいと思います。

進路の選択を控えた学生たちには、 どのようなアドバイスを 送られるのですか?

白根 それまでの学生生活でやっていなかったことを慌てて始めても自分のものにはなりません。それよりも自分自身がやってきたこと、あるいはやりたいことをはっきりさせ、その思いをしっかりと相手に伝えることを薦めています。単なる面接対策というのではなく、「自分」を見つめなおすことで自信を持つこともできるでしょうし、就職に対する思いも強いものになると思います。

佐久田 自分自身をアピールするプレゼンテーション能力ですね。これは就職活動のみならず、その後の社会や人生においても必ず必要とされる能力ですから、しっかりと身につけてもらえるように指導していきたいと思います。

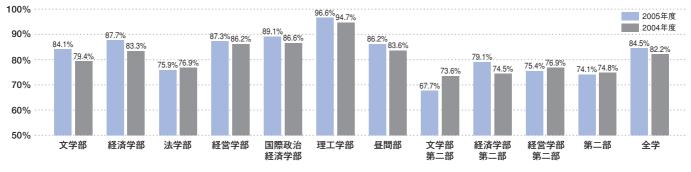
白根 進路・就職活動だけではなく、4年間の 学生生活を通して、学生の成長を促すための 手助けができればいいですね。

2005年度の進路状況について

昨年度から見られる景気の回復化傾向が、2005年度の進路状況にも好影響をもたらしました。各学部ごと、および全学の2005年度の進路決定率は以下のグラフのとおりですが、一部前年を下回った学部があるものの、ほとんどの学部で軒並み上昇。全学的に見て

も3%以上の伸び率でした。この安定した進路状況が次年度以降も 続くことが予想されます。進路・就職センターでは、今後も、さま ざまな就職支援行事などを通して、学生の進路決定を支援していき ます。

進路決定率(就職決定、自営、現職継続、大学院進学、留学)



就職者数ランキングベスト20社

人文·社会科学系							
順位	企業名	2005年度	順位	企業名	2004年度		
1	みずほ銀行	52	1	東京三菱銀行	40		
2	東京都小学校	29	2	東京都小学校	35		
3	三井住友銀行	27	3	みずほ銀行	23		
4	東京海上日動火災保険	21	4	三井住友銀行	21		
5	損害保険ジャパン	20	5	東京海上日動火災保険	16		
6	日本興亜損害保険	17	6	日本興亜損害保険	14		
7	三井住友海上火災保険	16	7	神奈川県小学校	13		
7	大和証券	16	8	警視庁	12		
9	全日本空輸	15	8	損害保険ジャパン	12		
9	日興コーディアル証券	15	10	積水ハウス	11		
11	日本生命保険	14	10	大和証券	11		
12	USEN	13	12	日本航空	9		
12	横浜銀行	13	12	日本生命保険	9		
14	りそな銀行	11	12	野村證券	9		
14	資生堂	11	12	ユーエフジェイ銀行	9		
14	アメリカンファミリーライフアシュアランスカンバニーオブコロンバス	11	16	エイチ・アイ・エス	8		
14	野村證券	11	16	大塚商会	8		
18	警視庁	10	16	三井住友海上火災保険	8		
18	ジェーシービー	10	16	三菱信託銀行	8		
20	神奈川県小学校	9	20	セブン-イレブン・ジャパン	7		
20	エン・ジャパン	9	20	明治安田生命保険	7		
20	三菱UFJ信託銀行	9					
20	第一生命保険	9					

	理工学系								
順位	企業名	2005年度	順位	企業名	2004年度				
1	キヤノン	16	1	日立製作所	9				
2	本田技研工業	10	2	日本電気	8				
3	ヤフー	8	3	キヤノン	7				
4	日立製作所	7	3	NTTデータ	7				
5	カシオ計算機	6	3	オービック	7				
5	トヨタ自動車	6	3	本田技研工業	7				
7	NTTデータ	5	7	NECソフト	5				
8	日本アイ・ビー・エム	4	7	ソフトバンクBB	5				
8	日本ヒューレット・パッカード	4	7	富士ゼロックス	5				
8	大日本印刷	4	10	日産自動車	4				
8	NTTドコモ	4	10	ヤフー	4				
8	大和総研	4	12	三洋電機	3				
8	日揮	4	12	大日本印刷	3				
8	日本電気	4	12	大鵬薬品工業	3				
8	東日本電信電話	4	12	東京電力	3				
16	東日本旅客鉄道	3	12	東京三菱銀行	3				
16	NECソフト	3	12	トステム	3				
16	ブリヂストン	3	12	トヨタ自動車	3				
16	リコー	3	12	東日本電信電話	3				
16	日産自動車	3	12	日立情報システムズ	3				

理工学研究科生を含む

本学独自の就職活動支援システムを活用しよう

文系就職を目指す方へ!

[青山キャンパス進路・就職センター]



一般の就職情報サイトにはない、本学独自の就職情報を 提供するシステムです。学内や自宅のパソコンで、企業から 本学に寄せられた求人票や採用セミナー開催情報、また卒 業生に関する情報などが閲覧可能です。さらに、内定の報 告を行ったり、各種の届出用紙をダウンロードすることもでき ます。

就職活動支援システムは、企業の春季採用活動が一段落した後も、多くの「求人情報」「セミナー情報」を提供しています。有名企業の2次募集や追加募集では、大学を限定して告知する場合もありますので、ぜひ本システムを活用し、

貴重なチャンスを生かしてください。

●就職活動支援システム・利用メニュー

【企業検索】企業条件(名称、業種、所在地等)と求人条件(対象年度、募集学部・学科、職種等)から、企業を検索できます。個別の企業にOB・OG名簿があるかどうかも検索できます。

【セミナー検索】本学に寄せられた会社説明会や セミナーの開催情報を検索できます。

【入社実績検索】過去10年間にわたる本学卒業 生の各企業への内定実績を検索できます。

【内定入力】内定後の進路先報告を直接入力・ 送信できます。

【試験報告入力】入社試験報告を直接入力・送信できます。



就職情報サービス画面

【提出書類】 進路決定届や入社試験報告書などの報告用紙をダウンロードできます

【リンク】進路・就職情報関連サイトへのリンク集とWeb Testです。

【お知らせ】「開室時間」「採用中止企業情報」「行事予定」などの速報やシステム利用Q&Aを掲示します。

※なお、大学院生、理工学部生および人文・社会科学系学部1・2年生は、「検索メニュー」「リンク」のみ利用することができます。

技術系就職を目指す方は、相模原キャンパス進路グループで運用している、「理工学部就職情報システム」を活用してください。

2006年度就職関係行事日程

青山キャンパス (3・4年生、第二部学生を中心とした主な行事計画)

行 事	日 程
公務員講座(進路・就職センター推薦講座)説明会	4月12日、26日
教員採用模擬試験	5月13日、9月22日
インターンシップ説明会	5月26日
キャリアプランニングシリーズ(3回開催予定)*1・2年生中心	6月2日~7月
公務員ガイダンス(公務員を目指す人のための)*	6月14日
4年生緊急ガイダンス	6月15日
学内企業セミナー①(4年生対象)	6月15日、16日
「就職プレガイダンス」(3年生対象同一内容3回開催)*	6月19日、23日、7月1日
公務員採用試験直前対策セミナー(4年生・院生中心)	6月21日
公務員(各省庁等による)採用試験説明会	6月下旬
Uターン (ふるさと) 就職セミナー*	7月5日
マスコミセミナー	7月29日
学内企業セミナー②(4年生対象)	9月14日
就職ガイダンス(3年生対象同一内容3回開催)	9月27日、30日
就職講演会(4年生対象、内定式を前に)	10月上旬
業界研究セミナー*	10月上旬
マスコミ Q&A*	10月中旬

行 事	日 程	
筆記試験対策 ●SPI対策・一般常識 ●エントリーシート対策3回予約制 ●業界別の4年生内定者による添削	10月中旬~	
公務員(各省庁・政令指定都市等による)採用試験説明会*	10月中旬~	
働く女性セミナー・メイク講座*	10月中旬	
職種別セミナー*	10月中旬~	
マナー講座①(予約制)	10月下旬	
職業適性テスト解説	11月上旬	
第二部学生による就職活動体験報告会*1・2・3年生対象	11月上旬	
面接試験対策ガイダンス	11月下旬	
業界・企業研究セミナーA①*	11月下旬~	
マナー講座②(予約制)	12月上旬	
公務員試験合格者報告会*	12月中旬	
業界・企業研究セミナーA②	1月下旬	
OB ・OGとの交流会	2月上旬	
業界・企業研究セミナーB	2月下旬	
模擬面接講座	2月下旬	

大学院生も参加できます

*印は1年生から参加できます

相模原キャンパス(理丁学部3年生・理丁学研究科1年生を対象とした主な行事計画)

ロスボイドンハス(左エテロO十二 左エテ明)がイトナエで対象CO/Cエの11字の画/						
行 事	日 程	内容				
就職適性検査	9月	就職活動に向けて、自己分析を促し、志望の業種・職種を考える助けとする				
就職ガイダンス	10月	就職活動全般のオリエンテーション、支援行事等の案内				
内定者による報告会	10月	先輩による就職活動体験報告会				
SPI模擬テスト(1回目)	10月	多くの企業が実施している筆記試験の模擬テスト				
一般常識テスト	10月	一般常識の模擬テスト				
エントリーシート対策講座	10月	採用試験最初の関門といわれるエントリーシートの対策講座				
SPI模擬テスト(2回目)	11月	多くの企業が実施している筆記試験の模擬テスト				
面接対策講座	11月	採用試験の大きなウエイトを占める面接の対策講座				
内定者による相談会	11月	先輩による個別相談会				
就職ガイダンス	11月	本格的就職活動開始に備えて求人情報の提供方法、準備すべきことを説明				
業界研究会	11月・12月	業界の事業内容・職種を知るための研究会				
模擬面接	12月	実際の面接を想定した模擬面接を実施				
学科就職ガイダンス	1月	就職担当委員による学科単位のガイダンス				
企業セミナー	2月	各業界の採用担当者による採用情報等の説明会				

1・2年生を対象とした講演会、セミナー、公務員 ガイダンス等を青山・相模原両キャンパスで開 催いたします。

※追加、変更等もありえますので、進路・就職センター、 進路グループの掲示板で必ず確認してください。 ※学生情報サービス

(学内端末または http://www.aoyama.ac.jpから) に就職関連情報を掲載します。

インターンシップに関する相談会





インターンシップ参加希望者に対する相談会を行って います。

募集の現状、参加にあたっての心構え、申し込み方法、 選考方法、マナー等、インターンシップ全般の話を聞く ことが出来ます。

内定を得た4年生による 「就職活動体験報告会」

青山キャンパス]



10月

就職ガイダンスや行事の中で、よく出てくるのが「自己 分析」や「企業研究」という言葉。でも一体どうやって、 先輩たちは企業を選んでいったんだろう?どんな準備を したの?就職活動中どう過ごしていたの?内定が取れな くて落ち込んだときは?複数内定をもらったらどう選んだ の?先輩たちの体験談は、またとないケーススタディです。

「面接試験対策講座」

青山キャンパス 相模原キャンパ



就職試験で重要視されている。而接試験について、そ の方式、質問の意味するもの、身だしなみ、受け答え 方等、面接のポイント説明と模擬面接を行います。

学内で出来るOB・OG訪問 「OB・OGとの交流会」





「この業界で働いてみたい」こんな先輩のいる企業が 魅力的!」社会で活躍するOB・OGに、仕事内容につ いて、働き方について、職場の環境についてなどを直 接確かめてみる絶好のチャンスです。漠然としていた 社会で働くというイメージを、固めることが出来ます。 また、2月下旬に、青山会ネットワークのご協力により、「模 擬面接会」も予定しています。採用試験の本番前に、 先輩からの愛のこもった厳しいチェックを体験してはい かがでしょうか?













「さらに進化する青山学院大学大学院」本学大学院・専門職大学院への進学を考えるみなさんへ



副学長(学務·学生担当)

仙波 憲一

「知識基盤型社会」と言われる21世紀。情報や技術などを含む新しい"知識"が、ビジネス、政治、文化など、社会のあらゆる領域における活動の基盤となり、より高度な専門分野の知識とそれを活用して現実の諸問題を解決に導く応用力を持った人材がこれまで以上に求められるようになりました。そして、こうした社会状況を背景に、今、大学院教育の重要性が高まりつつあります。

本学では現在、大学の学部に対応した6研究科ならびに3つの専門職大学院(国際マネジメント研究科・法務研究科(法科大学院)・会計プロフェッション研究科)を設置しています。

このうち6研究科に関しては、今後の学部改革と連動する形で、博士前期課程(修士課程)を中心とした改革を計画しています。これは「学部4年間十大学院2年間」という6年間の高度な専門教育システムの確立を目指すもので、学部のカリキュラムと連携した体系的なカリキュラム整備を核としています。

また、時代のニーズに応える高度専門職業人育成を目的とした 専門職大学院では、各研究科において常に教育システムの見直し を行っており、今後もその教育成果を見ながら、3研究科間のコラボ レートや教育体制・システムの再編成などを図っていきます。

学内においても、将来の職業・目標と直結した明確な目的意識を 抱いて大学院への進学を希望する学部生が確実に増えています。 また、オープンキャンパス等で来学した高校生から大学院に関する 質問を受けることも多くなりました。こうした意欲的な若者の大学院 進学をバックアップすべく、現在、本学学部生の入学金・受験料の 免除などを検討しています。また、今年度より導入された国際政治 経済学研究科の「アカデミック・リターン入試」など、都心に立地す る大学として、社会人の方々の受入れに関しても意欲的に取り組ん でいます。

こうした大学院改革が、将来にわたる本学のさらなる飛躍のため の重要なステップとなることは間違いありません。多くの学部生のみ なさんが本学大学院に挑戦され、それぞれの夢をかなえることを心か ら願っています。

2006年度大学院在籍学生数

博士前期課程·修士課程·専門職学位課程 2006.5.1現在					
	研究科·専攻	学内進学者数	在籍学生数		
	教育学※		20		
	心理学※	3	18		
	英米文学※	_	46		
文学	フランス文学・語学	_	10		
	日本文学·日本語	_	12		
	史学	_	35		
	小計	3	141		
経済学	経済学	0	16		
	私法	0	5		
法学	公法	1	18		
<u>∠</u>	ビジネス法務●	_	83		
	小計	1	106		
経営学	経営学※	3	32		
	物理学	_	1		
理工学	機械工学	_	1		
	理工学	120	309		
	小計	120	311		
	国際政治学※	4	43		
国際政治経済学	国際経済学※	0	11		
当你以归柱/月子	国際コミュニケーション※	2	44		
	小計	6	98		
国際マネジメント★	国際マネジメント※		204		
法務★	法務	_	163		
会計プロフェッション★	会計プロフェッション		188		
	合 計	133	1259		

学内進学者数は学内進学者選抜試験による2006年4月入学者数。 在籍学生数には、博士後期課程の人数を含みません。 ※印の専攻は昼夜開講制。

- ●印の専攻は平日夜間および土曜日の開講制。
- ★印の研究科は専門職大学院。

2005年度教員採用試験報告

本学は毎年数多くの教員を輩出し、社会から高い評価を得ています。 今年度は62人が全国の学校に赴任しました。

2005年度教員免許取得および2006年度教員採用状況 2006.5.1現在

	免許状取得件数				採用者数							
			幼、小、	中、高		公立学校		私立学校		計		
		昼間	引部	第二部	(夜間部)	昼間部	第二部	昼間部	第二部	昼間部	第二部	合計
		1種	2種	1種	2種	_10,DP	(夜間部)		(夜間部)	_1000	(夜間部)	
	幼稚園	64	0	13	0	0	0	10	1	10	1	11
	小学校	64	10	20	0	26	6	2	0	28	6	34
Ĭ	護、ろう学校		\angle			\angle		\angle				
	英 語	71	7	5	0	5	0	2	0	7	0	7
	フランス語	10	0			0		0		0		0
中学校	国語	44	0	13	0	1	0	1	1	2	1	3
校	社 会	32	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	理科	23	0		\angle	2		0		2		2
	数学		\angle					\angle				
	英 語	82	\angle	6	\angle	1	0	0	0	1	0	1
	フランス語	11	\angle		\angle	0		1		1		1
	国語	56	\angle	8	\angle	0	0	1	0	1	0	1
	地理歴史	34	\angle	8	\angle	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	公 民	10	\angle	4	\angle	0	0	0	0	0	0	0
学校	理科	24		\angle	\angle	1	\angle	0	\angle	1		1
	数学				\angle	\angle	\angle	\angle	\angle		\angle	\angle
	商業	5	\angle	3	\angle	0	\angle	0	\angle	0		0
	工業	2	\angle	\angle	\angle	0	\angle	0	\angle	0	\angle	0
	情 報	3				0		0		0		0
	計	31	17	5	0	36	6	17	2	53	8	61

※免許状取得件数の計は人数計。(大学院生および科目等履修生は除く) 採用者数は2006年5月1日現在届け出のあった者のみ(非常勤および臨時講師は除く)。



福岡伸一理工学部教授が「第1回科学ジャーナリスト賞」を受賞

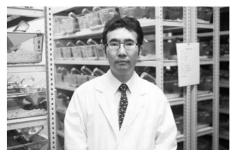
2006年5月26日(金)、本学理工学部化学・生命科学科の福岡伸一教授が、日本科学技術ジャーナリスト会議 (JASTJ) より、「第1回科学ジャーナリスト賞 | を授与されました。

JASTJ創設10周年を記念して、今年度より新設された同賞は、科学技術に関する報道や出版などで優れた成果をあげた人を表彰するもので、ジャーナリストはもちろん、優れた啓蒙書を著した科学者や科学技術コミュニケーターなど、広く科学技術ジャーナリズム活動に携わる人を対象としています。

福岡教授の受賞理由は「分子生物学者として斬新な視点でBSEを分析し、一般向け科学書をまとめたこと」。BSE(牛スポンジ脳症)問題の本質を、研究者の立場からわかりやすく解説した『プリオン説はほんとうか?』 (講談社ブルーバックス)や『もう牛を食べても安心か』(文春新書)等の著作活動が高く評価されました。また、教授は新聞・雑誌等でも、わが国のBSE問題に対する鋭い提言と警告を発信し続けています。

「BSEという病気が、現在、どこまで明らかになっているのかをきちんと解説し、その危険性を多くの人々に正しく知ってもらうこと……いわば、研究者としての"説明責任"を果たしたいと思い続けてきました。BSEのような専

門的な事例に関して、一般の方々は一次(オリジナル)情報ではなく、メディアのフィルターを経た二次、三次情報を通して理解しています。しかし、メディア報道が必



ずしも事実を正確に反映しているわけではなく、そこに多くの情報のねじれ や誤解が生じています。一般の人々には難解なオリジナルの科学データ が持つ意味を、わかりやすい言葉でアウトプットすること・・・・・それが、今、サ イエンス分野でもっとも大切なことではないでしょうか」(福岡教授)

なお、福岡教授の最新刊『ロハスの思考』(ソトコト新書)では、食の問題を入口として、地球の生態系システムにおける持続可能な新しいライフスタイルを提言されています。

経済学部でGIS教育を進める4教員が「シンフォニカ統計GIS活動奨励賞」受賞

本学経済学部の髙橋重雄教授、井上孝教授、三條和博教授、髙橋朋一助教授が、(財)統計情報研究開発センターの平成17年度「シンフォニカ統計GIS活動奨励賞」を受賞しました。受賞理由は、経済学部におけるGIS教育で大きな成果を収めたこと、そしてその教材として開発された『事例で学ぶGISと地域分析』(2005年・古今書院)への高い評価でした。なお、上記4名が編著者となった同書は、社会科学分野におけるGIS教育の実用的な入門書として幅広い支持を受け、好調な売れ行きをみせています。

GISとは地理情報システム(Geographic Information Systems)の略称で、コンピュータを利用し、電子地図上に統計データなどのさまざまな情報を視覚化し、空間情報として扱えるようにしたシステム。たとえば、地域の人口分布や人の動きと店舗配置などの情報を組み合わせ、ハンバーガーショップの新規出店計画といったエリアマーケティングにも活用されており、都市計画や環境調査などの分野でも導入されています。経済学分野でも人口調査データや地価データの解析など、GISの活用領域は大きく広がっています。しかし、これまでの大学経済学部の教育では、GISはほとんど扱われていませんでした。

受賞した4名の教員は、2003年4月、わが国の経済系学部で初めて本学にGIS専用教室「GISラボ」を設置。この教室を利用した講義「GIS入門」をスタートさせました。2006年度後期からは、学生の要望を取り入れる形で、さらに高度な内容を学ぶ「GIS応用」が開講されます。わが国のGIS



左から髙橋朋一助教授、井上教授、髙橋重雄教授、三條教授

●髙橋 重雄教授(都市研究)

『事例で学ぶGISと地域分析』の執筆を通して、私自身多くのことを学ぶことができ、苦労をしながらも充実した時間を過ごすことができました。今回の受賞は本学部におけるGIS教育のさらなる推進にあたって大きな励みとなります。また、こうした高い評価をいただけたのも歴代学部長や総合研究所スタッフの方々のご理解、そして学部や大学のバックアップがあったからこそ。4名を代表してあらためて感謝の意を捧げたいと思います。

●井上 孝教授(人口地理学、人口論)

受賞を心から喜んでいます。経済学部の新しい教育プログラムとして、私たちがGIS教育を提案したのは2000年のこと。その後、総合研究所の研究プロジェクトとして、経済学部でいかにGIS教育を展開するかという難題と取り組み、その成果が「GIS入門」、そして教材である『事例で学ぶGISと地域分析』として結実しました。今後は1・2年生を対象にした相模原キャンパスでのGIS教育についても検討していきたいと思っています。

●三條 和博教授(地球科学)※「GIS入門」担当

「GIS入門」は、まったくの初歩から高度な技術までが自然に身につく授業構成となっています。学生の人気も高く、卒論テーマでGISを扱いたいという希望も出てきました。今回の受賞は、そうした学生の支持に加え、社会からも私たちのGIS教育に一定の評価をいただけたものと受けとめています。今後、GISの技術を身につけた本学部の学生が、そのアドバンテージを生かして社会のさまざまな分野で活躍することを願っています。

●髙橋 朋一助教授(システム工学) ※「GIS入門」「GIS応用」(2006 年度後期より) 担当

私はぜミでもGISを扱っており、技術的なことをマスターした学生は、GISを使ってそれぞれ独自の研究テーマに取り組んでいます。学生たちは若者らしくユニークなテーマを見つけてきます。一方、二部の社会人学生はそれぞれの職業を踏まえた実践的な研究テーマを設定されることが多く、指導する私が触発されることも少なくありません。今回の受賞を機に、さらにGIS教育の可能性について考えていきたいと思います。

教育に新たな

地平を拓いた、

経済学部の4

教員……それ

ぞれの方々に

受賞に対する

感想とGIS教 育への思いを

うかがいました。













第11回「前田純孝賞」学生短歌コンクールで日置ゼミの学生3名が入選文学部日本文学科 日置 俊次教授「第50回現代歌人協会賞」を受賞

日置 俊次教授ゼミナールに所属する、文学部日本文学科の小澤 智美さん(2006年3月卒業)、若林 美幸さん(4年)、千葉 紘子さん(4年)が、第 11回「前田純孝賞」学生短歌コンクール(主催:兵庫県新温泉町・新温泉町教育委員会・神戸新聞社)で入賞を果たしました。しばらくして、日置俊次教授のもとにも「第50回現代歌人協会賞」受賞の吉報が届きました。

日置ゼミの3年生は、毎週最低1首は「短歌」を作り、ゼミで発表しています。そんな日頃の成果を試すために、ゼミ生が作品を「前田純孝賞」に応募。東の啄木(石川啄木)に対して、西の純孝と評された歌人前田純孝を冠した栄誉あるコンクールです。

応募総数2,517首から下記の歌で新温泉町教育長賞とネット特別賞(一般の方のネット投票で最多得票を獲得)に選ばれた若林さん。

いつの日か終わるかもしれぬこの恋に君も全力でぶつかってくれ

「普段は抽象的なイメージ先行の作品が多いのですが、あえて普段とは違うストレートな表現にチャレンジしてみました」と作品誕生の秘話を教えてくれました。

一方、下記の歌で新温泉町長賞に入選した千葉さん。

寒空の下に見つけた日だまりは寂しさ溶かすあなたの笑顔

「いつも自分の気持ちを正直に表現しています。この歌は冬に作ったので、 みんなの心が温かくなるように、との思いを込めました」と作品への思いを 話してくれました。

そして大学生の部の最高賞である「前田純孝賞」を、今春本学を卒業した小澤さんの歌が受賞。

東京の顔ぬぎ娘にかえる日よふるさとはいつも母のいる場所

現在、海外留学中の小澤さんに代わり、日置教授が小澤さんの思い出 を話してくれました。

「宮沢賢治が大好きで、言葉に強い興味を持った学生でした。 短歌という 日本の文化に親しんだことを誇りに感じつつ、アメリカでも頑張っていると 思います |

自身のゼミから3人もの入選者が出て「本当にうれしかった」と語る日置教授。「短歌は、自分が経験した、あるいは感じた一瞬一瞬を、31音の言葉で表現することで"永遠化"できます。ただ言葉を考えるだけでなく、自分自身を見つめ直す作業が短歌づくりには欠かせません。学生時代に短歌に親しんだことは、きっとこれからの人生の財産となるはずです」

日置教授のこの言葉を裏付けるように、「その時々に感じたことをこれからも短歌に残しておきたい」(若林さん)、「気持ちは写真に写らないけれど、短歌として残せます」(千葉さん)と、おふたりとも短歌との付き合いがこれからも続くようです。

そして時を同じくして、日置教授も2005年秋に刊行された「ノートル・ダムの椅子」(角川書店 2005.9刊)が、歌壇の芥川賞とも呼ばれる「現代歌人協会賞」に選出されました。

「自分の原点であるパリへの留学時代に感じたことを表現した作品です。 ある意味 "出発点" とも言える作品で賞をいただけたことは光栄です」

作品を読み返せば、その 当時の自分のことをはっき りと思い出せると言います。 作者が感じた思いを31音と いう短い文章に凝縮するか らこそ、短歌には読み手に



伝わる力強さがあるのです。 左から若林さん、日置教授、千葉さん

青山学院大学社学連携研究センター(SACRE)の設置

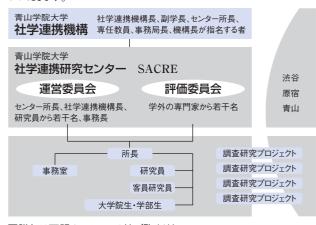
2006年4月、本学に社学連携研究センター(Society-Academy Collaborative Research and Education Center:SACRE)が設置され、所長に経営学部の井口典夫教授が就任いたしました。

『地の塩、世の光』をスクールモットーとする本学にとって、社会との交流・協働、いわゆる「社学連携」は、極めて重要な意味を持ちます。SACREは「開かれた大学」としての本学を象徴するものとして、キャンパス周辺の地域と自ら連携しつつ、研究教育活動等を展開し、広く社会に貢献することを目的としています。特に渋谷・原宿・青山エリアは、青山学院発祥の地であるだけでなく、先端的な都市文化を世界に発信する基地でもあります。本学が有する高度な文化創造力を活かす場として、これ以上、相応しいエリアはないと言えるでしょう。

SACREでは次の基本方針のもと、まちづくりや都市文化の創造など現代的な課題・ニーズに係わる事業に取り組んでまいります。

- 1) 行政を含めた地域社会から寄せられる要望等に対して、真摯かつ迅速に対応する。
- 2) 本学の研究教育的蓄積を活かし、独自の視点から地域社会の課題等を発見し、その解決を図る。
- 3) 社学連携ネットワークの拡充や、本学の研究教育プログラムの充実に 資する。

SACREはフランス語で"聖なる"を意味します。本学の社学連携活動は"聖地"から始まります。関係者の皆様の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。



- ■詳細は下記ホームページをご覧ください。 http://www.renkei.aoyama.ac.jp/
- ■お問合わせ先:SACRE事務室 総合研究所ビル8F 電話:03-3409-8111(代)内線12084













学内の研究支援から地元企業への技術指導まで「附置機器分析センター」開設3年目の飛躍



理工学部·電気電子工学科 教授 **澤邊 厚仁**



機器分析センター 技術主幹 中村 新一

2003年の相模原キャンパス完成と同時にオープンした「附置機器分析センター」も開設から3年が経ちました。この3年間を振り返りながら、施設の現状を教えてください。

澤邊 相模原に移る前の世田谷キャンパスの時代は、各学科独自で研究・分析用の設備機器を抱えていました。そのため経費や人手の面でかなり非効率的な部分があり、学部全体としても大きな負担となっていました。そこで新キャンパスへの移転を機に、各設備機器の維持・管理・指導などを一括して行うことを目的とする施設の設置が計画され、「附置機器分析センター」が完成したわけです。1年目はほとんど準備期間でしたが、2年目に透過電子顕微鏡の第一人者でもある中村さんを招へいし、少しずつ体制を整え、ようやく昨年ぐらいから効果的に活用されるようになってきました。

中村 機器分析センターの役割は、大きく4つに分類できます。まず は「学生への研究・技術支援」です。論文や学科発表の際のデー タ収集の支援や各種機器を操作できるようになるための講習会も 実施しています。次に「CAT (先端技術研究開発センター)の研究 支援」。COE研究プログラムや外部資金研究プログラムなどに、最 新の研究分野で取り組むCATの各教員の研究テーマに対応した 支援を行うものです。3つ目は「研究効率の向上」があげられます。 研究支援にもつながることですが、センターの機器を積極的に活用 いただくことが研究の効率化にもなるはずです。常に快適な状態で 利用できるように機器の管理・メンテナンス業務にも細心の注意を 払っています。そして4つ目が「地域貢献」です。大学内だけでなく、 外部との交流も機器分析センターの大きな使命。特に地域とのつ ながりを深めるなど、地域に貢献できる、社会に還元できる活動を展 開したいと考えています。すでにいくつかの神奈川県内の企業を対 象に、分析装置の技術指導を定期的に行っており、また大規模な 設備を持たない中小の企業からは、さまざまな分析の依頼をいただく こともあります。



学生や教員が、機器分析センターを活用するにあたっての 大切な心構えを教えてください。

中村 機器分析センターは基本的に24時間オープンしています。 昨年度は、理工学部の経営システム工学科をのぞく5学科・14研究 室で233名の学生や先生方にご活用いただきました。機器分析センターは学生にとって、本当に生きた体験のできる場所です。 頭だけで理解するには限界があります。 実体あるものを自分の手を使って調べることで、本当の知識として理解することができます。 せっかく

プロフェッショナルな研究に身近で触れることのできる環境が用意されているのですから、どんどん積極的に活用してもらいたいです。

澤邊 最近はど の分野でもコンピュータ化が進んで



います。例えば透過電子顕微鏡でもコンピュータで簡単に制御できるものが多くあります。しかし大切なことは、ただ漠然と分析のために顕微鏡で素材を覗くのではなく、その研究に何故「分析」が必要なのかを理解したうえで研究に取り組む姿勢です。いわば観察するために必要な資料をしっかり用意すること。その部分はどんなに近代化が進もうとコンピュータはやってくれません。地道な作業が研究を有意義なものにするのです。

機器分析センターが今後目指して行く方向性、および可能性を聞かせてください。

澤邊 分析センターを備える大学は数多くありますが、学内においてこれだけ学生に有効に利用され、しかも学外とも深くつながり合うセンターは、他にはあまり聞きません。訪れた方々に設備の充実度をよくお褒めいただきますが、私は設備のことを褒められるよりも、機器分析センターによって学生が成長し、地域にも貢献できる環境が整っている点をご指摘いただける方が何倍もうれしいですね。

中村 これまではそれぞれの研究が大変なため、学科間での交流といった点は、あまり見られないようでしたが、機器分析センター内の各部屋はオープンなスペースですし、他の研究室の研究過程などから新たなヒントが生まれる可能性も考えられます。今後は、それぞれの研究室が切磋琢磨しながらお互いを高められるような機会を提供できる場としてもご活用いただければうれしいですね。

澤邊 「分析する」ことは、研究者にとっては水や空気と同じようにごく当然のことです。ただし、どうしても世間からスポットライトが当てられるのは、常に"研究結果"の方。成果にたどり着くために欠かせない「分析する」部分に注目が集まることはほとんどありません。しかし、分析が重要な研究の過程に欠かせないことは明確な事実。機器分析センターは"縁の下の力持ち"として、今後ますます重要な地位を築いていくはずです。

●対東北学院大学総合定期戦報告

5月27日(土)から29日(月)までの3日間、第57回対東北学院大学総合定期戦が本学青山キャンパスにおいて開催されました。期間内に実施された種目が9試合といささか寂しいものとなりましたが、ポイント14-10で東北学院大学が総合優勝を飾りました。通算成績は本学の36勝21敗となりました。



●清里サマー・カレッジ

静かな大自然の中にある山梨県清里・ハガ岳寮で、学生と教員が生活を共にしながら、聖書や讃美歌に親しみ、年齢や学部・学科にとらわれずに参加者同士が語り合える機会です。2006年度は8月1日(火)~3日(木)、「神さまからのEメール―便利社会の幸せさがし一」という主題のもとに開かれます。特別講師にキリスト品川教会牧師の吉村和雄先生をお招きします。現代社会における幸せとは何かについて、一緒にじっくりと考えてみませんか。

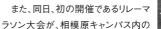
お問い合わせ先:青山学院宗教センター TEL 03-3409-6537

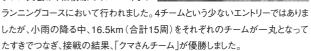
●2006年度新入生歓迎スポーツ

〈バスケットボール、リレーマラソン〉大会開催

6月11日(日)、相模原キャンパスにおいて新入生歓迎スポーツ大会が開催されました。相模原キャンパス開学以来恒例となっている、バスケットボール大会に

ついては、A棟アリーナにおいて、一般 35チーム、女子7チームによるトーナメント戦形式で試合が行われ、一般チームは「バスケがしたいです」、女子チームは「チーム野生児」が優勝しました。









●課外教育プログラム

旬野菜の健康家庭料理

本年度は、定例のプログラムに加え、「食」を テーマにした新たな企画として、6月11日(日)、 三鷹市の星野農園において、ジャガイモや玉葱



などの野菜を収穫し、その野菜を調理し、食す機会を用意しました。



開催地の星野農園は土を大切にし、茄子の生産 では首都圏指折りの生産者です。

当日は料理家の指導の下、イタリアン料理を、アンティパストから始まり3点のメニューを作りました。また、食後には料理家よりバルチェの提供がありました。

参加した学生は、料理が初めての人もいましたが、それぞれ分担を決め、笑いに 包まれながらの時間が過ごせました。

最後は庭にテーブルを出し、自分たちで作った料理を楽しく試食しました。 現在は、食の問題が提起されていますが、今回の内容が、食への興味の一端 になればと思います。

●青山スタンダード「キリスト教理解関連科目」特別講座 ケンブリッジ大学セント・キャサリンズ・カレッジ聖歌隊演奏会

ルネサンスから現代にいたるイギリス教会音楽を中心に、指揮者であるエドワード・ウィッカム氏の解説と演奏で構成された演奏会が行われました。

■第1回 相模原キャンパス

(会場:ウェスレー・チャペル) 2006年7月6日(木) 開演 17:00

■第2回 青山キャンパス

(会場:ガウチャー記念礼拝堂) 2006年7月7日(金)

開演 18:30



●相模原祭のお知らせ

2006年度も10月8日(日)・9日(月)の2日間に相模原祭が開催されます。これまで相模原祭では、人文・社会科学系学部の1・2年生および理工学部の学生が中心となり、展示会、演奏会、ダンス大会、各種模擬店などの催し物が実施されました。相模原祭は回数を重ねるごとに、大学内外での注目が集まり、より多くの学生が参加し、盛大なものになってきており、4年目を迎える今回の相模原祭は、より充実した学園祭になるものと思われます。現在、実行委員の学生たちが、学園祭を成功させるべく、準備に取り掛かっており、10月には、きっとご期待に応えられる相模原祭が開催されることでしょう。

Club & Circle Information

問い合わせ先

〒150-8366 青山学院大学学生部学生課 Tel 03-3409-7835

*主な文化連合会・体育連合会の活動予定。下記大会、演奏会の日程・場所は予定のものです。今後変更になる可能性もあります。

主要活動予定(2006年8月~11月)

アイススケート部 ホッケー部門 インカレ関東予選 (9月)

秋季リーグ戦 (10月)

アイススケート部 フィギュア部門 第44回関東学生フィギュアスケート選手権大会(10月)

硬式野球部 東都大学野球秋季リーグ戦 (9~10月)

漕艇部 東日本選手権(8月) 全日本大学選手権・東日本新人選手権(8月)

全日本新人選手権(10月)

チアリーディング部 Japan Cup 日本選手権(8月)

軟式野球部 全日本大学軟式野球連盟全日本大会(8月)

東都大学野球連盟秋季リーグ戦(9月)

馬術部 関東学生馬術選手権大会(9月)

バスケットボール部 (男子・女子) 関東大学リーグ戦 (9・10月)

バドミントン部(男子・女子) 東日本学生バドミントン選手権大会・関東学生秋季リーグ戦・ 全日本学生バドミントン選手権大会(8・9・10月) バレーボール部(男子・女子) 秋季関東大学リーグ戦(9・10月) ハンドボール部 秋季リーグ戦(9・10月) フェンシング部 関東学生フェンシング大会(10月) ボクシング部 神奈川県アマチュアボクシング大会(9~10月)

関東学生ヨット秋季選手権大会(10月)

レスリング部 全日本学生選手権(8月)

ヨット部 関東学生ヨット個人選手権大会(8月)

全日本学生王座決定戦 (9月) 全日本大学グレコローマン選手権 (10月)

ラクロス同好会 関東学生ラクロスリーグ戦(8月)

主要活動報告(2006年5月~7月)

バレーボール部(女子) 関東大学バレーボール春季リーグ戦 優勝 **チアリーディング部** 全日本選抜チアリーディング選手権大会 規定演技3位

誌上公開講座 No.33

青山スタンダード 技能コア科目「言葉の技能」

技能コア科目のうち「言葉の技能」は、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など外国語の実践的なスキルを身につけることを目指す科目です。

昨年の「誌上公開講座 No.27」において、「言葉の技能」のうち、少人数クラスで学ぶ全学的な英語教育プログラム「Essential English」、および第二外国語として「中国語」「ロシア語」「韓国語」の各授業を紹介しました。今回は、第二外国語の「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」の各授業を紹介します。

現在、本学学生が第二外国語として選択できるのはフランス語・ドイツ語・スペイン語・中

国語・韓国語・ロシア語の6カ国語。第二部を除き、原則的に1年次の必修科目として1言語を4単位(週2回)履修します。また、文学部フランス文学科では、フランス語を専攻言語として学びますので、英語を第二外国語として選択できます。

第二外国語のうちフランス語・ドイツ語・中国語の3言語では、1年次に共通テストを実施しています。これは言語別に1年間の学習目標を設定し、各教員がその目標を達成するための授業を行うことを前提に実施されているもので、いわば青山スタンダードの理念を反映させるための試みです。

また、2006年度より、中級以上(2年次)の第二外国語科目として「インテンシブコース」を開講。20名程度の少人数クラスで週4回の授業を集中的に履修し、海外留学に必要な実践的な語学力の習得を目指します。

グローバル社会を迎えている現在、外国語 学習の重要性は、ますます高まっています。 本学では、学生が意欲的に外国語学習に取り組めるよう、今後もさまざまな学生のニーズを 取り入れた英語および第二外国語の教育プログラムを整えていきたいと考えています。



フランス語



国際政治経済学部教授 支倉 壽子



アメリカ化が顕著な今日の日本ではフランス語を学ぶ意義は大きいと言えます。「もう一つの世界観」「歴史のあるヨーロッパ文化」を知るために。さらにフランス文化の重要な要素である「生きる歓び」こそ、これからの私たちに多くを教えてくれるものです。そしてフランス語は美しい。それは発音も文法も多くの規則に支えられているからです。「何でこんなに面倒なの?」と言いたくなる初級段階をクリアすること、フランス語の音を耳で覚えること、それが習得のコツです。教



室で学ぶことはもちろん大事ですが、それ以上に「自分で」聴いて発音して書いてみること。 大学のカリキュラムの中では第二外国語に割り当てられる時間が少ないことが悩みです。私のクラスはペアのフランス人担当者と同じテキストを使って進度をメールで連絡しあい、その悪条件を克服しようと努力して

います。学生さんたちにフランスとフランス語に興味をもってもらうこと、それをいつも考えながら授業に臨んでいますが、ややこしい規則を楽しく覚えてもらう工夫はなかなかむずかしい。学習者自身がはっきりした目的をもっていると乗り越えやすいようです。パリに行きたいとか映画を字幕なしで見たい、フランス語の新聞(図書館にあります)を読みたい、テレビ(F2やTV5などが見られます)を見たいというような。Bon courage!

Pick UP

スペイン語





青山学院では、生きたスペイン語を学生の皆さんに学んでもらうため、基本的にネイティブの先生と日本人の先生とがペアになって初習者の授業を展開しています。またDVDのついた教材を使用し、学生の皆さんの授業外での学習が円滑に進むよう配慮しています。



スペイン語は母音の発音(a.e.i,o,u)が日本語とよく似ているので、初めて学ぶ人でもスムーズに発音できるようになります。文法体系は日本語とも英語とも異なりますので、はじめのうちはたいへんかもしれませんが、文法の例外がとても少ないので、一度ルールを覚えてしまえば、あとはそれを実践に移して言語習得を目指すことができます。

スペイン語をマスターするのにお勧めしたいのは、文法を押えながら、ネイティブの感覚に近づいて思考すること。また口に出して発音しながら、ことばを「身体の中に落としていく」こと、です。間違えるのは恥ずかしいと考える皆さんも多いでしょう。しかし私の学生時代の経

験からいうと、間違えること自体が言語習得の糧になるといえます。 羞恥心を取り去って、一歩を踏み出してください。スペイン語の検定試験には、日本スペイン協会が主催する「スペイン語技能検定」があり、2006年度からは「ビジネス西検」も始まります。 またセルバンテス協会が世界規模で行っている「外国語としてのスペイン語検定(DELE)」もあります。

スペイン語は、一説によれば、3億人以上が話す言語だとされています。スペインやラテン・アメリカはもとより、スペイン語話者の移住によって、アメリカ合衆国や実は私たちの住む日本にも、その使用範囲は広がっています。学生の皆さんには、楽しくスペイン語を学び、その技能を将来、活かしていっていただきたいと思っています。



ドイツ語



国際政治経済学部教授 茂 牧人



ドイツと日本は、明治時代以降深い関係にあります。日本は、ドイツの文学、哲学、法学、医学、音楽などさまざまな分野で影響を受けています。また最近はサッカーの先進国として日本との関係も深まってきました。そのようなドイツの言語を勉強することによってさらにその文化に触れ

ることができると思い ます。やはり相手の国

の文化に触れるためには、その国の言語を習得することから始まるといえるでしょう。

私の授業では、ドイツ人のホイサーマン先生と会話を中心にした一冊の教科書を使ってペアで授業をしています。私が担当の課の重要な文の文法的な説明を行い、次にホイサーマン先生が会話の練習をするというように、また私の授業でリスニングを中心に練習するときは、ホイサーマン先生がスピーキングの練習をするというように合計4回の授業で一つの課を終えます。

私たちが使っている教科書は、自己紹介から道順の聞き方、レストランでの注文の仕方などドイツにいったときにすぐに使える例文を多く覚える

ことによって、生きたドイツ語の文に触れ、覚えることを目指しています。 さらに2年生以降にもインテンシブ・コースなどの中級以上のクラスもあり、自分の目的にしたがって、継続してドイツ語を勉強できます。

それによって近年では、国際交流としてドイツの大学に留学する学生も増えてきました。今からますます異文化交流が盛んな時代がやってきます。そうであれば英語以外にさらにもう一つの言語としてドイツ語の重要性が深まってきたといえるでしょう。



大学学費納付について (大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください)

1.学費振込依頼書発送時期

- (1) 後期振込依頼書発送予定日9月7日(木)【納入期限9月29日(金)】
- (2) 学費振込依頼書は、上記の日程で保証人宛(申し出のあった場合 は学生宛)に送付いたします。
- (3) 学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数 料は無料です。
 - その他の都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、農業組合 等での振込みは、振込手数料が必要になります。
- ※注意 ATM(自動振込機)による振込は絶対にしないようご注意 願います。

(学費納入の確認が不可能のため)

2.下記事項問い合わせ先(学費未納等事故防止のため)

- (1)住所変更(保証人・本人)→学生部厚生課(青山キャンパス)
 - 学生生活グループ(相模原キャンパス)
- (2) 休学·退学希望者
- →昼間部 (3・4年) および第二部は学務部 教務課(青山キャンパス)

昼間部 (1・2年、理丁学部全学年) は 学務グループ(相模原キャンパス)

- (3) 学費振込依頼書紛失 →経理部出納課
- (4) 転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等の学生の学費は、 経理部出納課にお問い合わせください。
- 3.延納を希望する場合は、納入期限までに各キャンパスの学生部 または学生生活グループへ願い出てください。

無断で学費を滞納すると除籍になる場合もありますので注意してください。 青山キャンパス 03-3409-8111(代表)

相模原キャンパス 042-759-6000(代表)

2006年度後期学費一覧表(入学年度別)

単位:円

年 度	2006年度入学生	2005年度入学生	2004年度入学生	2003年度入学生
学部	後期	後期	後期	後期
文 学 部				
経 済 学 部				
法 学 部	386,000	386,000	386,000	386,000
経 営 学 部				
国際政治経済学部				
理工学部	557,000	557,000	557,000	557,000
文学部第二部				
経済学部第二部	245,500	242,500	242,500	242,500
経営学部第二部	*			

- ※卒業記念積立金3,000円含む
- ・上記以外に、教育職員免許状取得の希望を申請した者は教職課程料、また、各種 資格取得の希望を申請した者は、資格課程料が後期学費に加算されます。
- ①2006年度入学生

教職課程料7,000円、司書教諭2,000円、司書2,000円、社会教育主事2,000円、 学芸員2,000円 (※申請年度ごとに徴収)

②2005年度以前 λ 学生

教職課程料14,000円、司書教諭6,000円、司書4,000円、社会教育主事4,000円、 学芸員4,000円(※在学中1回徴収)

・後期学費一覧表は、転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等は除きます。 経理部出納課 03-3409-6479(直通)

学部4年次留年生(在籍5年目以上(休学期間を除き)で4年次に留年した学生)の後期学費納付について

1.学費振込依頼書発送時期

後期履修登録後の発送になります。

10月20日(金)発送予定【納付期限11月17日(金)】

2.納入金額

- ①前期分所定の学費(前期授業料および諸費)で納入の学生
 - →後期学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。 前期設置科目申請単位数、通年設置科目申請単位数だけで、 すでに「年間所定の学費上限単位数」に達しておりますので、 後期設置科目申請単位数に関わらず前期・後期とも所定の学 費となっています。
- ②前期申請単位計算学費(費目は授業料のみで納入)で納入の学生 →後期学費は、「後期設置科目」履修申請単位数による単位料と なります。(申請単位数×単位料)
- 前期設置科目申請単位数、通年設置科目申請単位数と後期 設置科目申請単位数の合計が「年間所定の学費上限単位数」 に達した場合は、所定の年間学費と前期納入済学費との差額 をもって ト限といたします。

納入予定額の確認につきましては、経理部出納課にお問い合わせく ださい。

経理部出納課 03-3409-6479(直通)

2006年度地区父母懇談会 開催のお知らせ

2006年度地区父母懇談会の今後の開催日程をお知らせいたします。 お申し込みは、ご案内に同封の専用ハガキ、もしくは青山学院大学ホーム ページ上で受付中です。皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げております。

開催時間●10:00~15:30

对象:首都圈(東京都·埼玉県·千葉県·埼玉県在住2·3年生保護者 の方は別途開催済)以外の全都道府県在住、全学年の保護者の方。い ずれの会場にご出席いただいても結構です。

【父母懇談会に関するお問い合わせ先】

庶務部庶務課 父母懇談会担当

TEL.03-3409-8568 (ダイヤルイン)

父母懇談会URL http://www.aoyama.ac.jp/target/parents/

会 場	実施日	開催場所
金 沢	7月22日(土)	金沢都ホテル
長 崎	7月29日(土)	ホテルニュー長崎
福岡	7月30日(日)	ホテルオークラ福岡
函館	8月5日(土)	函館国際ホテル
札幌	8月6日(日)	ホテルオークラ札幌
名古屋	8月19日(土)	ヒルトン名古屋
浜 松	8月20日(日)	オークラアクトシティホテル浜松
盛岡	8月26日(土)	ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
郡山	8月27日(日)	郡山ビューホテルアネックス
高 知	8月27日(日)	ホテル日航高知旭ロイヤル
松 江	9月2日(土)	松江東急イン
松山	9月2日(土)	松山全日空ホテル
長 野	9月9日(土)	ホテル国際21長野
水戸	9月10日(日)	三の丸ホテル
広島	9月16日(土)	ホテルグランヴィア広島
大 阪	9月17日(日)	ホテルグランヴィア大阪
新潟	9月24日(日)	ホテルオークラ新潟

		部署		窓口事務取扱期間	曜日	取 扱 時 間	備考
	庶	務	部	8/8~9/12	月~金	9:00~16:00	9/13(水)より平常通り
	Bitt.	323	Db	8/8~9/12	月~金	9:00~19:00(11:30~12:30は除く)	8718(水) (891 南)返り
	教	務	課	0/0 -3/12	月~金	9:00~19:00(11:30~12:30は除く)	9/25(月)より平常通り
	→	570	歃	9/13~9/22	土	9:00~19:00(11:30~12:30は除く)	9/25(月)より十市通り
				0.00 0.110			
		m =m 10	am	8/8~9/12	月~金	9:00~15:30(11:30~12:30は除く)	0.05(5)
	教	課 程	課	9/13~9/22	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	9/25(月)より平常通り
					±	9:00~11:30	
	l			8/8~9/12	月·水·金	9:00~19:00(12:00~13:00は除く)	
	学	生	部	9/13~9/22	月~金	9:00~19:00(11:30~12:30は除く)	9/25(月)より平常通り
				0/10 0/LL	±	9:00~19:00(11:30~16:00は除く)	
	¥# 92 . #	就職 センター事務	安	8/8~9/12	月~金	9:00~11:30,12:30~15:30	
	進出・1	現職 ピンター 争 分	1 王	9/13~9/22	月~土	9:00~11:30,12:30~16:00	土曜のみ9:00~12:00
	\\ no =	ID MADE I . L. A. Mary May	-	8/8~9/12	月~金	9:00~16:00	
l	進路·5	扰職 センター資料	至	9/13~9/22	月~土	9:00~17:00	土曜のみ9:00~13:00
一章	_						9/13(水)より平常通り 休館中の本の返却は
IΨ	図	書	館	8/8~9/12	月~土	9:00~19:00 (土曜のみ12:00~19:00)	図書館正面のブックポストに入れてください
青山キャンパ	市 門 B	戦 大 学 院 事 務		8/8~9/12	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	9/13(水)より平常通り
レジ				8/8~9/12	月~金	9:00~15:30(11:30~12:30は除く)	5/10(水)のサ市通り
バ	大 学	院 事 務	室	9/13~9/22	月~土	9:00~18:30 (11:30~12:30,16:00~17:00は除く)	±₩₽3-0-00 12-00(11-20 12-20H₩/)
ス		7 50 1 5 5		9/13~9/22	H~⊥		土曜のみ9:00~13:00(11:30~12:30は除く)
		入 試 セ ン タ	_	8/8~9/12	月~金	9:00~16:00	9/13(水)より平常通り
	総合	研究所事務	室			9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	総合研究所図書室は夏期休業期間閉室
	情 報 科	学研究センタ	_	8/8~9/12	月~金	9:00~19:00	9/25(月)より平常通り
				9/13~9/24	月~土		
	国際	交流センタ	_	8/8~9/12	月~金	9:00~15:30(11:30~12:30は除く)	9/13(水)より平常通り
		語 ラ ボ ラ ト リ		8/8~9/12	火·金	9:00~19:00	9/25(月)より平常通り
	プト 国 a	音ラ ハ ラトリ	_	9/13~9/24 月~金 9.00~19.00		9.00.919.00	9/20(月)より十市通り
	//	4D 84 1 5 5		8/8~9/12	月~金	9:00~16:00	O (OF (B) LOTT (B)
	字 生	相談センタ	_	9/13~9/22	月~土	9:00~17:00(土曜のみ11:30まで)	9/25(月)より平常通り
				8/8~9/12	月~金	9:00~15:30	
	保健	管理センタ	_	*8/17~8/24	月~金	9:00~15:30, 17:30~20:00	9/25(月)より平常通り
				9/13~9/22	月~土	9:00~16:00(土曜のみ11:30まで)	11:30~12:30は除く
					月~金	9:00~16:00	
	宗 教	センタ	_	8/8~9/12 9/13~9/22			9/25(月)より平常通り
\vdash	7-1	4211	→		月~土	9:00~17:00(土曜のみ13:00まで)	## **
	ユニット	グル-		窓口事務取扱期間	唯 日	取 扱 時 間	備考
	l		トセンター				
	l	学務グ	ル ー プ	8/8~9/12	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	9/13(水)~9/22(金)
	l	進路グ	ル ー プ				月~金 9:00~16:00
	学 生 支 援 ユ ニ ット	国際交流					(11:30~12:30は除く)
	l	学 生 生 活	グ ル ー プ	8/8~9/12	火·金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	(土曜日のみ11:30まで)
	l	健康管理グループ(保健	!管理センター事務室)				
相	l	健康管理グループ(学生	相談センター事務室)				9/25(月)より平常通り
相模原キャン		授 業 支 援	グ ル ー プ	8/8~9/12	火·金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	9/13(水)より平常通り
原				8/8~9/12	月~金	9:00~16:00	
17	l	情報教育支援グループ(青報科学研究センター)	9/13~9/22	月~土	9:00~17:00 (土曜のみ13:00まで)	9/25(月)より平常通り
ヤ	教育・学習支援ユニット			8/8~9/12		9:00~16:00(土曜のみ12:00から)	
12		図 書 グ ル ー 3	プ(図書館)	9/13~9/22	月~土	9:00~17:00(土曜のみ13:00まで)	9/25(月)より平常通り
14	I	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	= 11 # 11 →	8/8~9/12	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	9/13(水)より平常通り
^	TT #0 + 455	メディアライブ:		0/0~9/12	月~並	3.00~10.00(11.30~12.30は除く)	コ/13(小/より十吊廻り
	研究支援ユニット	研究支援	グループ				
		企 画 グ	ル ー プ				
	企画・渉外・庶務ユニット	地域涉外交	流 グ ル ー プ	8/8~9/12	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は除く)	9/13(水)より平常通り
		庶 務 グ	ル ー プ				
	経 理・施 設 ユニット	経理・施設	グループ				
				8/8~9/12	月~金	9:00~16:00	
	宗 教	センタ	_	9/13~9/22	月~土	9:00~17:00(土曜のみ13:00まで)	9/25(月)より平常通り
	I.			: 10 0/		· · · · · · · · · · · · · · · · ·	1

2006年度青山学院大学公開講座について

本学では、大学での教育および研究の成果を広く社会に開放し、社会人の教養を高め、 文化の向上に資することを目的に、地域社会への貢献という使命から、1990年より公開 講座を開講しています。

青山キャンパス、相模原キャンパスの他、本学キャンパス以外での公開講演会も開催しています。また、渋谷区との共催による講座(青山キャンパス)や相模原市・座間市の市民大学としての講座(相模原キャンパス)も展開しています。

テーマはいずれも今日関心をもたれている諸問題について取り上げ、また受講者の声を反映し年齢、性別にとらわれることなく参加していただけるよう設定しています。 皆様のご参加を心よりお待ちしています。

【公開講座ガイドブックの送付について】

2006年度公開講座ガイドブックを無料で郵送します。ご希望の方は下記のいずれかの方法でお申し込みください。

●ウェブサイトからの申し込み

http://www.aoyama.ac.jp/extension/index.htmlからお申し込みください。

●はがきによる申し込み

•

官製はがきに、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、下記まで郵送してください。

●電話による申し込み

下記までお電話ください。

公開講座・公開講演会に関するお問い合わせ先

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学庶務部庶務課(公開講座担当) TEL. 03-3409-7955(直通)

第13回青山学院大学同窓祭開催のお知らせ

9月23日(祝)午前10:00~青山キャンパスにて開催!今年も開会礼拝に始まり「朝倉まみ&パトリック・ヌジェ シャンソンコンサート」、中田宏横浜市長を中心とした「フォーラム2006」、「ダンス☆マンのディスコパーティー」、「ドラえもんショー」等幅広い年代の皆様がお楽しみいただけるような企画に加え、青山寄席・公開講座・法律税務等無料相談・模擬店・出店・福引抽選会等、例年好評の企画も目白押しです! 夕刻からは青学会館にて懇親パーティーを開催。詳細は同窓祭ホームページhttp://aogaku-doso.netをご覧ください。

お問い合わせ先

大学同窓祭実行委員会事務局 TEL. 03-3409-8990

2007年度入学試験日程

●一般入学試験

	学部	3・学科・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	
	物	理·数理学科					
	15	学·生命科学科		- ((1)			
埋	機	械創造工学科		2/10(土)	2/17(±)	2/26(月)	
理工学部	情	報テクノロジー学科			2/1/(土)	2/20(H)	
пþ	電	気電子工学科		2/11(日)			
	経	営システム工学科		2/11(口)			
	教	育学科(B方式)	1/5(金)~1/27(土)				
	英	米文学科(A方式)	郵送受付に限ります				
	7	ランス文学科(A・B方式)	(締切日消印有効)	2/13(火)			
	日:	本文学科(B方式)		2/13(%)	2/20(火)	2/27(火)	
文学部	史	学科					
部	心	理学科					
	教	育学科(A方式)	学科(A方式)				
	英	米文学科(B方式)		2/14(水)			
	日	本文学科(A方式)					
経営	学部	経営学科(A·B·C方式)		2/15(木)	2/21(水)	2/28(水)	
法学	¥	法学科	1/5(金)~1/31(水)	2/17(土)	2/23(金)	3/2(金)	
国際記	EH2/A	国際政治学科(A·B方式)	郵送受付に限ります		2/24(土)		
経済		国際経済学科	(締切日消印有効)	2/18(日)		3/5(月)	
		I票コミュニケーション学科(A・B方式)	(44 43 14 15 15 15 70)				
経済	学部	経済学科(A·B·C方式)		2/19(月)	2/25(日)	3/5(月)	
文学		教育学科					
第二部	38	英米文学科(A·B方式)	郵送受付期間(締切日消印有効)				
経済等		経済学科	1/5(金)~2/15(木) 窓口受付日(青山キャンパス)	2/26(月)	3/3(土)	3/12(月)	
経営第二部	学部	経営学科	2/19(月)のみ				

●大学入試センター試験利用入学試験 各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

	学部·学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
理工学部	物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科	1/5(金)~1/20(土)	1/20(土) 1/21(日)	2/17(土)	2/26(月)
経営学部	経営学科	(締切日消印有効)	「平成19年度大学」 入試センター試験・ 受験案内」を参照。	2/21(水)	2/28(水)
法学部	法学科	(MIT 97 LI /FI HI 'FI XII /		2/23(金)	3/2(金)
国際政治経済学部	国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科			2/24(土)	3/5(月)
経済学部	経済学科			2/25(日)	3/5(月)

[※]入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了 手続締切日は3月23日(金)です(正規合格者のみ対象)。 ※一般入学試験および大学入試センター試験利用入学試験は併願が可能です。

News Index 2006.4~2006.6

2005年4月~6月までに大学ウェブサイトで掲載されたニュースの主なタイトルを 掲載しています。

06年4月

- ●理工学部化学·生命科学科 福岡 伸一教授の著書が平成18年度の講談社出版文 化賞科学出版賞に決定
- ●法学部 菊池 純一教授が平成18年度知財功労賞 特許庁長官表彰を受けました
- ●酒井 泰二さん (理工学研究科電気電子工学専攻)が(社)電子情報通信学会より 学術奨励賞を受賞

06年5月

- ●本学女子バレーボール部が平成18年度春季関東大学女子バレーボールリーグ戦 で優勝
- ●会計プロフェッション研究科長の鈴木 豊教授が、会計大学院協会理事長に選任さ れました
- ●機械創造工学科 竹本研究室のグループが平成17年度日本非破壊検査協会論文 賞を受賞
- ●機械創造工学科 長 秀雄助手が平成18年度腐食防食協会進歩賞を受賞
- ●日置 俊次文学部教授が「第50回現代歌人協会賞」受賞
- ●化学·生命科学科の福岡 伸一教授が第1回科学ジャーナリスト賞を受賞

06年6月

- ●本学硬式野球部が平成18年度東都大学野球春季リーグ戦で優勝
- ●理丁学研究科 米津明生さんらの論文が平成17年度日本材料学会論文賞を受賞
- ●大学院国際政治経済学研究科2007年度アカデミック・リターン入学試験を導入

前期終了科目成績通知について

9月16日(十)~10月31日(火)に各キャンパス内設置の学 内情報端末または学生証リーダー付PCにて各自で成績通知書 を印刷してください。

お詫びと訂正

前号AGU NEWS第32号10ページ「河野久氏に青山学院大学特別招聘 教授称号贈呈」において、「最終学歴/大阪府立大学法学部卒業」と掲載 しましたが、「最終学歴/大阪市立大学法学部卒業」の誤りでした。謹んで お詫び申し上げます。

アドバイザー・グループ紹介 🕖

とにかくやってみよう! 〈酒井アド・グル〉

毎年、メンバーと話し合って活動内容を決め、「無理のない範 囲でいろいろなことをやってみよう。そのプロセスを通して何か 得られるものがあれば、それでいいのではないか」というのが、 私のアド・グルの基本的なスタンスです。

定例の集まりは、毎週1回、相模原キャンパス(主に第一部1・ 2年生対象)と青山キャンパス(主に第一部3・4年生対象)で昼 休みに、また青山キャンパスでは主に第二部学生を対象にした 集まりを課外活動時間に行っています。これらには以前登録して いたメンバー、メンバーの友人、卒業生なども参加し、それぞれ の趣味、スポーツ、事件など折々の話題で盛りあがっています。 以前は、イベントとして近郊でのハイキングや、1~2泊旅行など も行っていたのですが、ここ数年間は水餃子の食べ歩き会、牛肉 食べ放題など美味しくて安い食事会が中心。できるだけ1~4 年生と第二部学生の合同で実施したいと思っているのですが、 なかなか全員の時間の折り合いがつかないことが悩みです。

これまでそれぞれの時代に個性的な、また人生に固有の課題

を持つ学生たちが、アド・グルの場を利 用していってくれました。彼らが卒業を 目前に大きく成長した姿を見せてくれ た時、あるいは学生同士が本音に近いレ ベルでさまざまな問題について意見を 交わし、やがてお互いの関係を深めて いく姿を見るたびに、アド・グルを担当す る喜びを感じています。



AGUニューズについて

青山学院大学では、大学広報誌 「AGUニューズ」 を年5回 (1月、3月、5月、7月、10月) 発 行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内 AGUニューズ専用スタンドにて配布しています。

●なお、「AGUニューズ | を確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった 場合は、住所変更の手続きをお取りください。

事務取扱窓口

青山キャンパス→学生部厚生課

相模原キャンパス→スチューデントセンター・学生生活グループ